

ベトナムが景気下支えのために追加利下げ

更なる利下げの可能性も高く、景気は徐々に持ち直そう

2023年5月25日

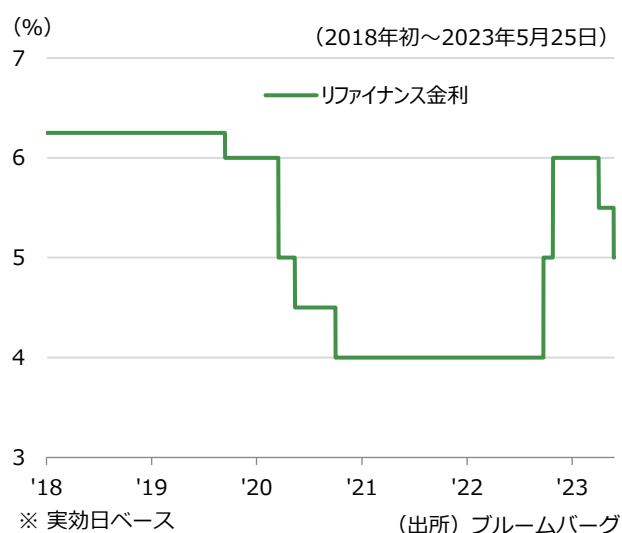
インフレ率の低下と通貨ベトナム・ドンの安定が利下げ余地を生み出す

ベトナム国家銀行（中央銀行）は5月23日（現地）に、政策金利のリファイナンス金利を5.5%から5.0%へ、0.5%ポイント（以下、%pt）引き下げました（実効日は25日）。4月3日に中銀は市場予想外に0.5%ptの利下げを実施していますが、この時期の2カ月連続の大幅な利下げは世界的に見ても異例です。同時に、中銀は期限が1-6カ月の預金金利の上限も5.5%から5.0%へ引き下げ、商業銀行の資金調達コストの低下を図り、「企業や家計の信用へのアクセス改善を支援する」ことを目指すと発表しました。

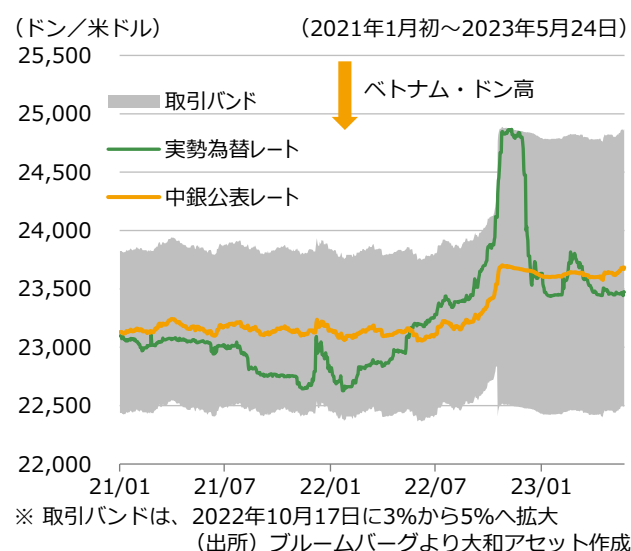
利下げの背景としては、インフレ率の低下と通貨ベトナム・ドンの安定が挙げられます。原油先物価格が70米ドル/バレル近辺まで低下したことや、ドンの安定などを受け、4月の消費者物価指数は前年同月比+2.81%へ低下し、3カ月連続で中銀のインフレ目標+4.5%を下回りました。また、2022年後半に対米ドルで切り下げを強いられたドンは、米国の利上げ打ち止め観測を受け、今年は概ね安定を取り戻して推移していることで、利下げの環境が整ったと言えます。

計1.0%ptの利下げにも拘らず、商業銀行の貸出金利は十分に低下していないため、今後も追加利下げで貸出金利の低下を誘導する可能性が高いとみられます。景気は、利下げに加えて、政府が不動産業引き締め策の軟着陸を図っていることもあり、徐々に持ち直すと見込まれます。株式市場では、利下げに加え、今年も6%に近い高い経済成長を維持するとみられる点などが、引き続き評価されそうです。

図表1 政策金利の推移



図表2 ベトナム・ドンの対米ドルレートの推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management